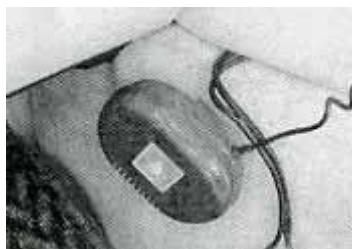


東京交通新聞 2009 年 7 月 6 日 (月)

< インフル対策 除菌器を発売 >

ワイズカンパニー

新型インフルエンザの国内感染者が 1000 人を超え、世界保健機関 (WHO) も警戒レベルを最も高いレベル「フェーズ 6 」に引き上げた。個人タクシー事業者の中にも車内感染を防ごうと車載用除菌機器を取り付ける事業者が増えている。



ワイズカンパニー（横浜市、脇勇二社長、045・953・1724）が開発・販売する除菌・脱臭クリーナー「YS くりん」=写真=は、病院や食品工場などに施行・販売している高濃度イオン発生装置を車内用にコンパクト化した製品。

エアコンの吸い込み口付近に取り付ける。滅菌効果の高いヒドールキシリラジカルという物質や酸素系イオン、オゾンなどが人体に影響を及ぼさないレベルで放出され車内に漂うウイルスやカビ菌、花粉を包み込み無害化する。

取り付けた都営協東支部の飯村正純さん（60）は「不特定多数が乗る車内の脱臭を徹底するため購入した。これまで取り付けていた 1 万円ほどの機器と比較してかなりの効果を実感しており除菌も期待できる」と話す。

税込み価格は 2 万 1,000 円。1 年に一度内蔵ランプ（6,300 円）を交換すれば、メンテナンスフリーで効果が持続する。